

## 社会福祉法人清和会 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）カリキュラム

科 目 名	時間数	内 容		
I 講義	6.5			
1 強度行動障害がある者の基本的理解	1.5	①強度行動障害の理解 ・ 支援の基本的考え方 ・ 強度行動障害の状態 ・ 行動障害が起きる理由	・ 支援の基本 ・ 強度行動障害とは ・ なぜ強度行動障害という状態になるのか ・ なぜ強度行動障害という状態になるのか ・ 児童期の予防の大切さ ・ 強度行動障害と社会参加	
		・ 障害特性の理解	・ なぜ自閉症の特性を学ぶのか ・ 自閉症について ・ 自閉症の特性を整理する ・ 学びと肯定的理解の重要性 ・ 知的障害及び精神障害について	
2 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識	5	②研修の意義 ・ 行動障害と虐待防止	・ 強度行動障害の正しい理解と支援スキルの獲得が障害者虐待防止に資する事の理解	
		・ 家族の気持ち/実践報告	・ 家族の気持ちの実践報告	
		③支援のアイデア ・ 障害特性に基づいた支援	・ 支援の道筋	
			・ 目で見てわかる支援が基本	
			・ 支援のポイントはどこにあるのか	
			・ 具体的な支援のアイデアを動画で	
			・ 支援を見直すことの重要性	
		④チームプレイの基本 ・ チームプレイの必要性	・ チームで支援する必要性	
			・ 統一した支援をするために	
			・ サービス等利用計画・個別支援計画・支援手順書	
			・ 支援の実施と記録	
		⑤実践報告 ・ 児童期及び成人期における支援の実際	・ 客観的な記録	
			・ 強度行動障害の状態にある方の記録の取り方	
			・ 課題となる行動の記録と仮説の検証・振り返りの重要性	
			・ 児童期における支援の実際	
			・ 成人期における支援の実際	
II 演習	5.5			
1 基本的な情報収集と記録等の共有	1	①基本的な情報収集 ・ 行動を見る視点	事例の動画を視聴し、強度行動障害の状態にある人たちの具体的な行動をどんな視点で観察したらよいかをワークシートを使用し、個人・グループワークで学ぶ。	基本情報の確認
				社会性の特性
				コミュニケーションの特性
				想像力の特性
				感覚の特性
2 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解	3	②チームプレイの基本 ・ 支援手順書に基づく支援の体験	事例の動画を視聴し、支援手順書や環境調整のアイデア、目で見てわかりやすい手がかりの使い方を体験し、個人・グループワークで学ぶ。	外出場面での支援手順書と記録の使用
		③強度行動障害の理解 ・ 困っていることの体験	強度行動障害の状態にある方に対して、支援者がどんな困惑を感じさせてしまっているのか、強度行動障害の状態にある方々の立場になって、体験し、個人・グループワークで学ぶ。	体験Ⅰ 伝えられないもどかしさ
				体験Ⅱ 意味の分からない苦痛
				体験Ⅲ 見通しの持てない不安や恐怖
				体験Ⅳ 感覚の特異性
				振り返り 個人ワーク・グループワーク
3 行動障害の背景にある特性の理解	1.5	④特性の分析 ・ 特性の把握と適切な対応	行動の背景について考え、行動が起きている理由を整理する考え方を学ぶ。 補助シートを使い冰山モデルシートの使い方を個人・グループワークで学ぶ。	行動の背景を考える
				支援のアイデアを考える
				振り返り 個人ワーク・グループワーク